

5 園地復旧後の早期成園化に向けた技術の導入

【取組】

- ① 玉津柑橘倶楽部及び管内苗木業者（JAえひめ南委託）が取り組んでいる復旧園地を対象とした大苗育苗に対し、施肥・防除・かん水などを指導
- ② 昨年整備した掘削機を活用し、耕土が固い改良復旧園地の植栽作業の効率化を推進
- ③ 再編復旧園地での土壌改良実証（早期成園化実証）

【成果】

- ① 植栽数：1,900本（玉津柑橘クラブ）、1,000本（JA）
〔R4年度：1,600本（ 〃 ）、3,000本（ 〃 ）〕
 - ② 改良復旧園地で2年生苗が植栽され、順調に生育
 - ③ 白浦工区で4種類の土壌改良資材を投入・土壌混和実施
- ## 6 省力化・軽労働化の推進と収穫時の労働力確保など労働力補完体制を整備

【取組】

- ① 省力化のため、個人スプリンクラー、点滴かん水やモノレールの導入推進
- ② 「JAえひめ南労働力確保対策プロジェクト」（事務局：JAえひめ南）を設置し、農業関係機関が連携した労働力確保対策を推進
- ③ 女性農業者やアルバイト等が果樹園で働きやすい労働環境を整えるため、簡易トイレの設置を推進

【成果】

- ① ・個人スプリンクラー：10園地（29,381㎡）
・点滴かん水施設：要望なし
・モノレール導入：17園地（56,115㎡）
- ② 有償ボランティア：222人、アルバイト：467人
- ③ R4年度までに地域の要望を概ね満たしたことから、今年度の要望なし

○地域の特色を活かした産地づくりによる経営の安定

1 県オリジナルブランド米「ひめの凩」の産地化

【取組】

- ① 穂肥・中干し栽培講習会の開催。個別巡回による病害虫防除指導
- ② 高品質多収生産に有効な省力中間施肥技術の実証ほを設置

【成果】

- ① ・戸数・栽培面積：14戸、8.8ha〔R4年比：100%〕
・穂肥・中干し講習会（5、6、7月の3回）を実施
 - ② 省力中間追肥実証区で、最高ランクのプレミアムクオリティを生産
- ### 2 「さといも(伊予美人)」の省力生産体系等による産地化及び優良種芋供給基地の育成

【取組】

- ① 一体的な産地づくりに向け、水田さといも生産振興協議会を開催するとともに、JA等関係機関と連携して講習会や現場巡回を実施
- ② 親芋副芽を活用した優良種苗の増殖について、作業研修及び現地実証

【成果】

- ① ・作付面積（旧津島町）：2.65ha〔R4：2.14ha〕
〃（全域）：10.3ha〔R4：11.6ha〕
・生産振興協議会を開催し、地域における課題を共有するとともに、今後の種芋生産の方向性等について協議（1月）
・次年度の作付けに向け、各地区で栽培講習会を実施（2月、22戸）
 - ② セル苗を用いた優良種苗生産の実証圃を3か所設置
- ### 3 生産量全国No.1の「ブラッドオレンジ」の産地化推進

【取組】

- ① 栽培技術向上による高品質栽培を推進
- ② 産地のブランド化を推進

【成果】

- ① 赤味向上のための栽培・貯蔵技術が向上し、高品質生産を実現
- ② ・地元業者と連携して加工品（ジュース、酢、グミ等）の開発を推進し、マスコミ取材を通じて全国に産地ブランドを広く周知
・河内晩柑、ブラッドオレンジフェアを開催（きさいや広場）



改良復旧園地（河内地区）での植栽状況



土壌改良資材の土壌混和



個人スプリンクラー設置園



ひめの凩中干し講習会



親芋副芽を利用した優良種芋増殖の作業研修



ブラッドオレンジフェア

○地域の特色を活かした産地づくりによる経営の安定

4 (株)源吉兆庵と連携した加工用果実(かき、びわ)の作付拡大と安定出荷に向けた取組推進

【取組】

- ① 高級菓子用くだもの産地確立事業(局予算)等を活用し、JAの新たな特産品(びわ、かき)の生産拡大を推進
- ② (株)源吉兆庵を含めた協議会において、新規生産者確保や生産供給目標の見直しなどを協議するとともに、生産量確保のため集団・個別指導を実施

【成果】

- ①
 - ・かきでは、管理不足園を近隣農家が共同作業により適期防除を行い、生産量を拡大
 - ・自社直営農場において、作業を開始
- ② びわ：2.6t〔R4年比：93%〕、かき：10.3t〔R4年比：124%〕

5 新規需要米等の栽培・利用促進による耕畜連携の推進

【取組】

- ・水田の有効利用を図るため、耕畜連携による新規需要米等の作付と生産者の栽培技術の向上を推進

【成果】

- ・米粉用米作付面積：3.2ha〔R4年比：100%〕
- ・飼料用米：13.6ha〔R4年比：100%〕
- ・WCS用稲：1.0ha〔R4：0ha〕



収穫期を迎えた加工用柿



加工用びわ剪定講習

～地域づくり～

農家の高齢化が進み、担い手不足が深刻化する中、集落営農組織の設立や意欲のある経営体の規模拡大を図るほか、農業団体による営農活動や進出企業による生産活動、女性等による6次産業化やグリーン・ツーリズムなど多様な担い手が活躍できる地域づくりを進めます。また、家族経営協定の推進により家族ぐるみで経営に参画し、夢を実現できるようメリハリのある経営や労務管理の取組を推進します。地域の鳥獣被害対策や荒廃農地対策も進め、安心して農業に取り組める地域づくりに努めます。

～推進対象や地域づくりの方向～

○農地を守る担い手の経営安定

1 集落営農組織の設立と法人経営の安定

【取組】

- ① 三間町是能地区で、さといもの作付け拡大のため、機械導入及び米販路開拓を支援
- ② 三間町音地地区で、農事組合法人の設立に向け活動支援

【成果】

- ①
 - ・法人によるさといも栽培：1ha〔R4年比：100%〕
 - ・分離機を利用し分離作業の省力化を推進：作業時間6割削減
 - ・新たな米の販売先として、三崎高校の寮食用に採用
- ② 令和7年の法人化に向けて、準備作業中

2 新規就農希望者の技術習得支援のための研修機能創設

【取組】

- ・JAえひめ南・野菜栽培講座を開設

【成果】

- ・基礎講座：講座数19回。受講生11名が受講
- ・野菜の栽培管理、農業機械の操作や修繕、鳥獣害対策等を研修

3 農家自ら立ち上げた法人組織等による営農活動の支援

【取組】

- ① かんきつ大苗育苗の技術指導
- ② 根域制限栽培園地の管理指導

【成果】

- ① 大苗育苗の施肥・防除・かん水等について指導
- ②
 - ・土壌分析により、固形肥料と液肥を併用した活用法を提案
 - ・せん定・摘果管理指導実施



是能地区のさといも収穫



音地集落の経営相談会



玉津柑橘倶楽部大苗育苗

○農地を守る担い手の経営安定

4 機械共同利用や共同防除組織の機能維持

【取組】

- ・機械共同利用14団体に肥料価格高騰対策の情報提供、集落組織間の広域連携強化に向けた事例調査、農作業安全使用を指導

【成果】

- ・集落営農広域連携事例を視察し、必要性を認識
- ・津島町の2法人が組織間連携について協議（1月）
- ・草払い機等の事故防止に向けた安全講習会（1回）

5 「攻め・守り・地域体制づくり」による鳥獣被害軽減活動

【取組】

- ・県、市事業による防止対策施設の整備や、個別指導、講習会の開催、見回り活動等による「攻め・守り・地域体制づくり」を軸とした鳥獣被害軽減活動を推進

【成果】

- ・鳥獣害防止施設整備事業：736m（県事業）
〔R4：2,274m、R3：1,738m〕
- ・単独有害獣被害防護柵設置事業：2,215m（市事業）
〔R4：3,459m、R3：5,820m〕
- ・集落見回り活動で、ワイヤーメッシュ柵の点検を実施（薬師谷地区）
- ・青年業者組織による、くくりわな作成講習会を開催
- ・農作物被害額：61,280千円〔R4年比：98.9%〕

6 荒廃農地“予備軍”の早期発見と対策の推進

【取組】

- ・農業委員、協力員、市等で、管内全域の農地利用状況を調査

【成果】

- ・7～8月に関係者約100人で、問題となる農用地が無いか巡回指導を実施
- ・遊休面積は、19ha前後で推移



集落営農広域連携事例を視察
（広島県世羅町・おぐにフィールド）



鳥獣被害対策のため
集落の点検活動を実施

○新規就農者の育成と多様な担い手の定着

1 就農希望者に対する就農相談や情報提供

【取組】

- ・市役所や支所に相談窓口を設置して、就農希望者への個別相談を実施し、営農計画作成支援や各種補助事業の活用などを促進

【成果】

- ・就農相談：30件〔R4：20件、R3：51件〕（計101件）
- ・就農：6人（全てが認定新規就農者へ）

2 新規参入者に対する支援体制作り「相談～体験～研修～就農」

【取組】

- ・行政、JA、地域の農家が一丸となり、新規参入者の受入れ体制を整備

【成果】

- ・管内11戸の受入れ候補農家を巡回し、協力を依頼
- ・就農希望者1人が2戸の受入れ農家で研修し、来年度就農予定のほか、県外からの就農希望者については、来年度に移住就農予定
- ・農地、機械等の情報を共有し、リスト化

3 新規就農者や就農初期青年への生産技術・経営のスキルアップの場の提供

【取組】

- ① R3、4年度の新規就農者を対象にした濃密指導、セミナーの開催
- ② 新規就農者等を対象に経営管理や技術力向上のためのニューファーマー講座を開催し、円滑な経営発展と早期定着を推進
- ③ 経営発展を目指した農業者を対象とした、研修会の開催

【成果】

- ① 普及指導員による巡回指導（月1回程度）により、防除機械を導入したほか、倉庫建設について制度資金の活用を支援
- ② スマート農機具紹介、補助事業説明会、インターネットを活用した販路拡大、肥料高騰に対処する土づくりに関する講座を実施：4回（うち2回は、1ターン者のための交流研修会）
- ③ 就農6年以内を対象とした経営発展講座の実施：2回



受入れ候補農家への説明



新規就農者への濃密指導



ニューファーマー講座

○新規就農者の育成と多様な担い手の定着

4 女性農業者によるネットワーク活動を支援

【取組】

- ・女性農業者ネットワークづくり、資質向上に向け研修会等を開催

【成果】

- ・南予地域女性リーダー合同研修会（内容：技術研修、講話）
- ・女性農業委員によるスキルアップ研修（内容：鳥獣害対策、農福連携）
- ・先進事例視察研修（愛南町、内容：柑橘経営法人2事例）

5 農家による6次産業化やグリーン・ツーリズム等の取組支援

【取組】

- ・各種研修会等により、農産加工や6次産業化、グリーン・ツーリズム等を支援

【成果】

- ・農産加工研修（品目：味噌、柑橘ゼリー）
- ・視察研修（内容：6次産業化の取り組み事例）
- ・農家民宿の開業：2件（新規）



先進事例を視察（愛南町）



味噌加工研修

～産地づくりと地域づくりを基盤整備で支えます～

1 水田地帯における農地中間管理機構と連携した圃場整備の実施

【取組】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業：2地区

【成果】

- ・是能地区：受益面積19.4ha（受益戸数68戸）
- ・黒川地区：受益面積7.0ha（受益戸数19戸）

2 既存かんがい施設の老朽化対策と災害に強く生産性の高い樹園地整備の実施

【取組】

- ・玉津地区・宇和島地区・吉田地区・岩松地区・岩松第2地区・高の平地区・立間地区で実施中

【成果】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業：1地区（玉津地区）
- ・基幹水利施設ストックマネジメント事業：3地区（宇和島地区、吉田地区、岩松地区）
- ・農業水路等長寿命化・防災減災事業：1地区（岩松第2地区）
- ・畑地帯総合整備事業（担い手育成対策）：2地区（高の平地区、立間地区）

3 ため池の改修及び耐震補強工事

【取組】

- ・ため池改修及び耐震補強工事を実施中

【成果】

- ・中山間地域総合整備事業：1地区（宇和島地区）
- ・農村地域防災減災事業：2地区（中山地区、二名地区）

4 優良農地の荒廃の防止等、地域ぐるみの保全管理の共同活動への支援

【取組】

- ・日本型直接支払制度の活用による、地域ぐるみで取り組む保全管理のための共同活動の実施

【成果】

- ・多面的機能支払：46組織（1,569ha）
- ・中山間地域等直接支払：85協定（1,815ha）



かんがい施設更新状況



再編復旧工事中



ため池の改修整備



ため池改修工事中



共同活動の状況